



薩摩川内市立 亀山小学校

児童数 483 人
学級数 24 クラス



《テーマ》

子どもの自己有用感を高める人権教育の推進 ～魅力ある学校づくりを目指して～

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校の児童は、明るく伸び伸びと学校生活を送っている一方で、自分のよさに気付けなかったり、互いのよさを認め合えなかったりする傾向が見られる。そこで本年度は、研修を通して教職員の人権意識の高揚を図るとともに、子どもの人権感覚を育むための取組を充実させることが、自己有用感を高め、魅力ある学校づくりにつながると考え、本研究テーマを設定した。

研究の実際

6月9日（金）人権教室（4年生）
講師による提案授業
7月25日（火）職員研修「人権教育の視点に立った学級・学校づくり」
11月1日（水）人権に関する家庭教育学級講演会「自尊感情の育成」
12月1日（金）～12月7日（木）
※校内人権週間（※人権集会の実施・人権標語の作成）

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 人権教室の実施

県教育庁人権同和教育課の講師を招聘した人権教室・家庭教育学級講演会をはじめ、人権擁護委員やN T T ドコモ講師との連携授業を年に4回実施した。外部人材の活用により、教師・児童・保護者の人権感覚を磨く機会となった。



【4年 人権教室】

□ 人権コーナーの活用

人権コーナーでは、ピクトグラムに関する掲示物をはじめ、児童や教職員が考えた標語、人権に関する詩や書籍等の紹介を定期的に行う等、児童や教職員に啓発活動を行った。



【職員研修】

□ 人権週間における授業実践と人権標語づくり

12月の人権週間において、道徳や学活等で人権に関する学習を全学級2時間実施した。また、期間中に1人1作品の標語づくりに取り組み、放送による紹介や作品掲示等を通じて、人権意識の高揚を図ることができた。



【人権コーナー】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 子どもの人権プロジェクト推進校の取組を通して、「みんなも大切、自分も大切」を基本とした人権教育の充実を図ることができ、教児ともに人権意識を高めることができた。
- 本校が取り組んでいる「魅力ある学校づくり」の中核として人権教育の充実を位置付けることで、6学年の調査において「学校が楽しい」と感じる児童の割合が、昨年度比14P上昇した。
- 学校だけでなく、家庭においても子どもの自尊感情を育むための関わりが重要だと考える。今後も、人権に関する教育講演会や授業参観を実施する等、保護者と共に人権について学ぶ機会を積極的につくり、学校と保護者が一体となって人権教育を進められるようにしたい。